

命を守る訓練

(R7.9.29)

前期期末考査終了後に「緊急地震速報に対応した」命を守る訓練を実施しました。事前に生徒へは連絡をせず、実施しましたが、生徒は緊急地震速報を受けて、落ち着いて机の下へ隠れ、頭を守る行動をとり、避難経路の安全が確保できた後に避難経路を使用して、体育館へ避難することができました。

体育館に避難完了後、大垣市民病院の救命救急センター医師の木村拓哉様、看護師の高木あゆみ様より「災害に備えるために災害を知る ～みんなができること～」と題してご講演いただきました。先生方は、日本DMAT 隊員として2024年1月1日に発生した能登半島沖地震の4日後に現地に派遣されました。ご講演の中で、被災地の状況だけでなく、災害に備えるために必要な知識や日頃から準備をしておくことよいことを教えていただきました。また災害時、水の配給が不足することもあり、水分摂取を制限する方が増えるため、災害時に使える簡易のトイレの紹介もいただきました。実際の被災地の様子を見せていただき、学校生活だけでなく、家庭でも災害時の約束事や、持ち物等を確認し、災害に備えた生活を送ることができるよう、いつ起こるか分からない災害に備えることの重要性を改めて考えるきっかけとなりました。

